

## 再 評 価 調 書

I 事業概要							
事業名	河川事業						
地区名	二級河川 <sup>ごうどがわ</sup> 神戸川水系						
事業箇所	半田市						
事業のあらまし	<p>神戸川は、その源を半田市南西部の標高 60m 程度の丘陵地に発し、半田市南部を南東方向にまっすぐ流れ、半田市の新旧市街地を流れた後、<sup>きぬらこう</sup>衣浦港を経て三河湾に注ぐ、河川延長約 4.7km、流域面積約 13.2km<sup>2</sup>の二級河川である。その流域は、大部分が半田市、西側の一部が<sup>とこなめし</sup>常滑市である。</p> <p>当該流域では、過去に 1953 年 9 月の台風 13 号、1959 年 9 月の伊勢湾台風、1976 年 9 月の台風 17 号などにより浸水被害を受けたことを契機に河川整備がなされたものの、その後も 2000 年 9 月の東海豪雨による浸水被害を受けている。</p> <p>このため、2005 年 8 月に二級河川神戸川水系河川整備計画を作成し、半田市<sup>しんはまちよう</sup>新浜町地内の河口付近から半田市<sup>ひこずちよう</sup>彦洲町地内の<sup>かんだ</sup>神田 2 号橋付近までの約 3.0km を工事対象区間とし、河道拡幅や掘削、橋梁改築による流下断面の拡大を実施し、治水安全度の向上を図っている。</p>						
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 河川改修等による治水安全度の向上</p> <p>年超過確率 1/5 の規模の降雨（24 時間雨量 164mm）を安全に流下させることを目標とする。</p>						
計画変更の推移		事前評価時 (2005)	再評価時 (2011)	再評価時 (2 回目) (2016)	再評価時 (3 回目) (2021)	変動要因の分析	
	事業期間	2005～2034	2005～2034	2005～2034	2005～2034	変更なし	
	事業費（億円）	36.3	36.3	36.3	59.5	下記のとおり	
	経費内訳	工事費	31.3	31.3	31.3	54.8	下記のとおり
		用補費	3.4	3.4	3.4	1.9	下記のとおり
その他		1.7	1.7	1.7	2.8	下記のとおり	
事業内容	神戸川樋門の改築 河道拡幅 河床掘削 護岸整備 橋梁改築	神戸川樋門の改築 河道拡幅 河床掘削 護岸整備 橋梁改築	神戸川樋門の改築 河道拡幅 河床掘削 護岸整備 橋梁改築	神戸川樋門の改築 河道拡幅 河床掘削 護岸整備 橋梁改築	神戸川樋門の改築 河道拡幅 河床掘削 護岸整備 橋梁改築	神戸川樋門改築区域において、当初想定していなかった軟弱地盤層が確認された。樋門の軟弱地盤対策として基礎工及び仮設工を見直したために全体事業費が増額となった。	
	事業延長 L=約 3.0km	事業延長 L=約 3.0km	事業延長 L=約 3.0km	事業延長 L=約 3.0km			

II 評価

1) 必要性  
の変化

【事前評価時の状況】

神戸川水系では、高潮対策として伊勢湾台風規模に対応した神戸川樋門および高潮堤防が整備された。また、洪水対策としては、台風17号（1976.9）を契機として、中上流部において、一次的な整備が行われた。

しかし、その後の都市化の進展に伴う流出量の増大もあり、東海豪雨（2000.9）では甚大な浸水被害が発生した。

このため、2005年には今後の整備内容を定めた「二級河川神戸川水系河川整備計画」を作成し、治水対策を実施することとした。

表1 主な浸水実績

洪水 年月日	異常 気象名	観測所	時間最大 雨量 (mm)	総雨量 (mm)	床下 浸水 (戸)	床上 浸水 (戸)	浸水 面積 (ha)
1953.9.25 ～9.26	台風13号	---	---	---	1,425	2,725	不明
1959.9.26 ～9.27	伊勢湾 台風	名古屋地方気 象台（名古屋 市千種区日和 町）	21	70	4,181	1,918	不明
1976.9.8 ～9.13	台風17号	半田消防署 （半田市東洋 町）	64	368	1,586	1,109	318
2000.9.11 ～9.12	東海豪雨	半田消防署 （半田市東洋 町）	83	495	275	183	42

（注）台風13号、伊勢湾台風の浸水戸数・面積は半田市の被害を表す。

（出典）台風13号：半田市誌

伊勢湾台風：伊勢湾台風災害復興誌、半田市誌

台風17号（1976年豪雨）：半田市資料、水害統計

東海豪雨：半田市資料、水害統計

【再評価時（3回目）の状況】

2000年東海豪雨以降は、神戸川流域において大きな浸水被害は発生していない。

【変動要因の分析】

2005年から2019年にかけて、半田市の人口は2.1%増加し、世帯数は17.2%増加した。また、半田市全体の土地利用は、2005年から2019年にかけて、宅地は7.6%増加し、農地は3.1%減少している。（神戸川流域に対する半田市全体の面積比率は25.5%）

2005年から2019年にかけて、常滑市の人口は12.9%増加し、世帯数は34.6%増加している。また、常滑市全体の土地利用は、2005年から2019年にかけて、宅地は29.4%増加、農地は7.7%減少している。（神戸川流域に対する常滑市全体の面積比率は1.9%）

①事業の必要性の変化

判定	<p>A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。  <b>B</b>: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。  C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。  ※事業着手時と比較することが適切ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>																																																																																																																																																																																																																																				
	<p>【理由】  流域内の宅地面積等が増加しているが変化は僅かであり、事前評価時に比べ必要性にほとんど変化はない。</p>																																																																																																																																																																																																																																				
1) 進捗状況	<p style="text-align: center;">表2 事業計画及び工事実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2005 ~ 2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026 ~ 2034</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">工種 区分</td> <td>用地補償</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・神戸川樋門の改築</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・河道拡幅</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・河床掘削</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・護岸整備</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・橋梁改築</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費* (億円)</td> <td>前回計画</td> <td>22.95</td> <td colspan="3">3.5</td> <td colspan="3">3.5</td> <td colspan="3">6.4</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>22.95</td> <td colspan="3">13.5</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>22.95</td> <td colspan="3">13.5</td> <td colspan="3">8.2</td> <td colspan="3">14.8</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3 事業進捗率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長 (km)</td> <td>2.1</td> <td>0.5</td> <td>24</td> <td>3.0</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>事業費 (億円)</td> <td>26.5</td> <td>36.5</td> <td>138</td> <td>59.5</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>22.8</td> <td>32.6</td> <td>143</td> <td>54.8</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>  用補費</td> <td>2.5</td> <td>1.9</td> <td>76</td> <td>1.9</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>1.3</td> <td>1.9</td> <td>146</td> <td>2.8</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table> <p>神戸川水系では、河川整備は全 2.6km の内、約 0.5km が整備済みである。2021 年度以降は、神戸川樋門の改築や築堤、掘削等を行なう予定である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種 (単位)</th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>盛土 (m3)</td> <td>7,775</td> <td>7,775</td> <td>100</td> <td>7,775</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>浚渫・土砂掘削 (m3)</td> <td>28,640</td> <td>6,912</td> <td>24</td> <td>40,660</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>ブロック積護岸 (m2)</td> <td>3,483</td> <td>3,130</td> <td>90</td> <td>3,483</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>樋門改築 (基)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>道路橋 (橋)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>100</td> <td>3</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>用地 (m2)</td> <td>1,875</td> <td>1,875</td> <td>100</td> <td>1,875</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>			2005 ~ 2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026 ~ 2034	工種 区分	用地補償	←→												工事													・神戸川樋門の改築		←								→			・河道拡幅	←→										←→		・河床掘削	←→										←→		・護岸整備	←→										←→		・橋梁改築	←→										←→		事業費* (億円)	前回計画	22.95	3.5			3.5			6.4			実績	22.95	13.5									今回計画	22.95	13.5			8.2			14.8				これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】	延長 (km)	2.1	0.5	24	3.0	17	事業費 (億円)	26.5	36.5	138	59.5	61	工事費	22.8	32.6	143	54.8	59	用補費	2.5	1.9	76	1.9	100	その他	1.3	1.9	146	2.8	68	工種 (単位)	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】	盛土 (m3)	7,775	7,775	100	7,775	100	浚渫・土砂掘削 (m3)	28,640	6,912	24	40,660	17	ブロック積護岸 (m2)	3,483	3,130	90	3,483	90	樋門改築 (基)	0	0	0	1	0	道路橋 (橋)	3	3	100	3	100	用地 (m2)	1,875	1,875	100	1,875	100
		2005 ~ 2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026 ~ 2034																																																																																																																																																																																																																								
工種 区分	用地補償	←→																																																																																																																																																																																																																																			
	工事																																																																																																																																																																																																																																				
	・神戸川樋門の改築		←								→																																																																																																																																																																																																																										
	・河道拡幅	←→										←→																																																																																																																																																																																																																									
	・河床掘削	←→										←→																																																																																																																																																																																																																									
	・護岸整備	←→										←→																																																																																																																																																																																																																									
	・橋梁改築	←→										←→																																																																																																																																																																																																																									
事業費* (億円)	前回計画	22.95	3.5			3.5			6.4																																																																																																																																																																																																																												
	実績	22.95	13.5																																																																																																																																																																																																																																		
	今回計画	22.95	13.5			8.2			14.8																																																																																																																																																																																																																												
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																																																																																																																	
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】																																																																																																																																																																																																																																
延長 (km)	2.1	0.5	24	3.0	17																																																																																																																																																																																																																																
事業費 (億円)	26.5	36.5	138	59.5	61																																																																																																																																																																																																																																
工事費	22.8	32.6	143	54.8	59																																																																																																																																																																																																																																
用補費	2.5	1.9	76	1.9	100																																																																																																																																																																																																																																
その他	1.3	1.9	146	2.8	68																																																																																																																																																																																																																																
工種 (単位)	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																																																																																																																	
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】																																																																																																																																																																																																																																
盛土 (m3)	7,775	7,775	100	7,775	100																																																																																																																																																																																																																																
浚渫・土砂掘削 (m3)	28,640	6,912	24	40,660	17																																																																																																																																																																																																																																
ブロック積護岸 (m2)	3,483	3,130	90	3,483	90																																																																																																																																																																																																																																
樋門改築 (基)	0	0	0	1	0																																																																																																																																																																																																																																
道路橋 (橋)	3	3	100	3	100																																																																																																																																																																																																																																
用地 (m2)	1,875	1,875	100	1,875	100																																																																																																																																																																																																																																

②事業の進捗状況及び見込み

【事後評価に準ずるフォローアップ】

■水位低減効果

・整備済み区間とその上流において、目標とする計画高水位（青実線）を計算水位（2020時点）（赤実線）が下回っており、水位低減効果が見られる。

また、成岩橋上流付近 1.485km 付近で、最大約 0.8m の水位低減効果が見られる。

※水位はシミュレーションにより算出

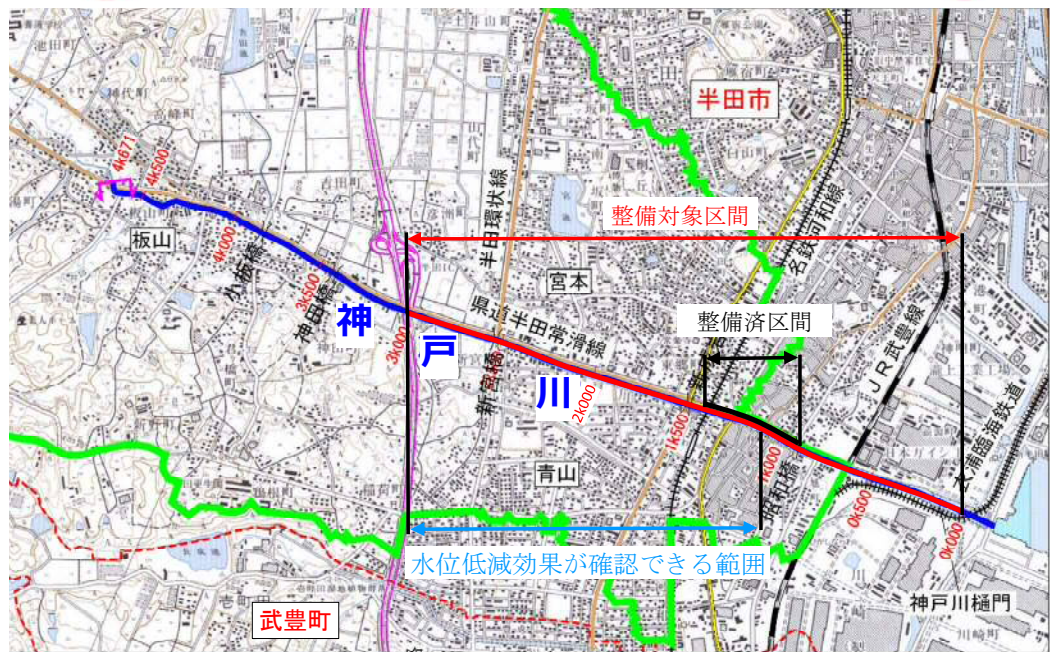
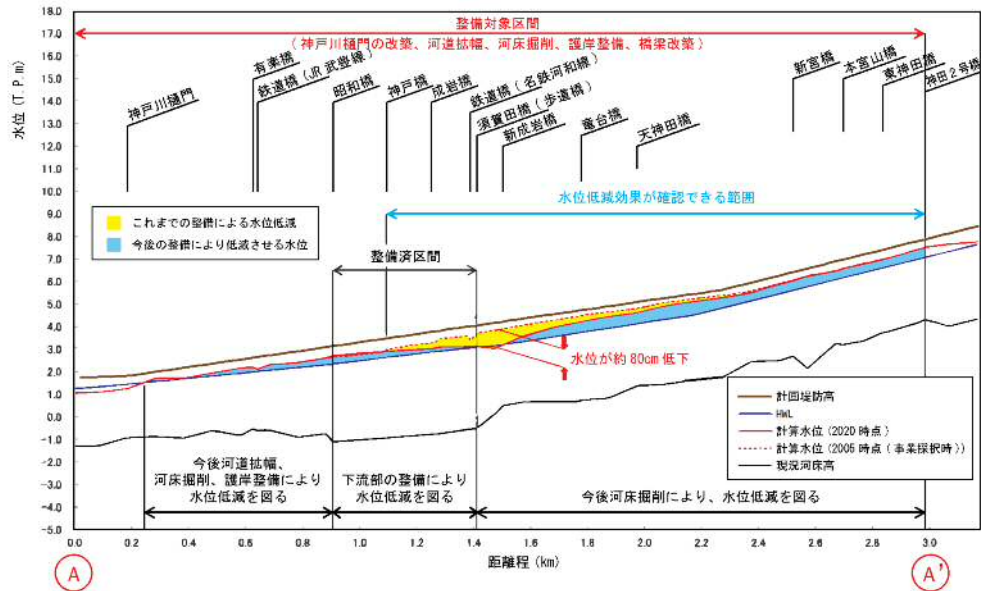


図1 水位低減効果図

2) 未着手  
又は長期化の  
理由

特になし。

3) 今後の  
事業進  
捗の見  
込み

【阻害要因】

特になし。

【今後の見込み】

事業進捗は概ね順調であり、計画通り 2034 年度に完了する見込みである。

判定	<p>Ⓐ: これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。          B: 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> <p>C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																																								
	<p><b>【理由】</b>          阻害要因は特になく、計画通りの完成が見込まれるため。</p>																																																																																																								
1) 貨幣価値化可能な効果（費用対効果分析結果）の変化	<p><b>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析の算定基礎となった要因変化の有無】</b>          ・神戸川樋門改築の軟弱地盤対策（樋門基礎工・樋門仮設工）による事業費の増加</p> <p><b>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析結果】</b>          ・本事業の全体事業に対する費用便益比は2.1(&gt;1)であり、事業効果が期待できる。</p> <p style="text-align: center;"><b>表4 費用便益分析表</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">事前評価時 (基準年: 2005)</th> <th style="text-align: center;">再評価時 (基準年: 2011)</th> <th style="text-align: center;">再評価時 (2回目) (基準年: 2016)</th> <th style="text-align: center;">再評価時 (3回目) (基準年: 2021)</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">費用 (億円)</td> <td>事業費（建設費）</td> <td style="text-align: right;">21.8</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: right;">64.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td style="text-align: right;">2.6</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: right;">7.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>残存価値</td> <td style="text-align: right;">0.2</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計（C）</td> <td style="text-align: right;">24.2</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: right;">71.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center;">効果 (億円)</td> <td>一般資産被害額</td> <td style="text-align: right;">19.3</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: right;">75.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>農作物被害額</td> <td style="text-align: right;">0.0</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: right;">0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公共土木施設等被害額</td> <td style="text-align: right;">32.6</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: right;">57.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>間接被害額</td> <td style="text-align: right;">4.0</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: right;">19.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>残存価値</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: right;">0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計（B）</td> <td style="text-align: right;">56.0</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: right;">152.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(参考) 算定 要因</td> <td>浸水面積 (ha)</td> <td style="text-align: right;">96.71</td> <td style="text-align: right;">96.71</td> <td style="text-align: right;">96.71</td> <td style="text-align: right;">96.71</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>宅地面積 (ha)</td> <td style="text-align: right;">84.81</td> <td style="text-align: right;">85.15</td> <td style="text-align: right;">85.77</td> <td style="text-align: right;">86.19</td> <td style="text-align: right;">+1.6%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>農地面積 (ha)</td> <td style="text-align: right;">6.3</td> <td style="text-align: right;">5.6</td> <td style="text-align: right;">4.5</td> <td style="text-align: right;">4.2</td> <td style="text-align: right;">-33.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人口 (人)</td> <td style="text-align: right;">2,875</td> <td style="text-align: right;">2,963</td> <td style="text-align: right;">2,963</td> <td style="text-align: right;">2,733</td> <td style="text-align: right;">-4.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用対効果分析結果(B/C)</td> <td style="text-align: right;">2.3</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: right;">2.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※金額は、社会的割引率（4%）を用いて現在の価値に換算したもの。          ※算定要因の数値は、国土数値情報土地利用メッシュ（国土交通省国土計画局）および100mメッシュ延床面積データに基づく。</p> <p><b>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析手法】</b>          ・治水経済調査マニュアル（案）（国土交通省 水管理・国土保全局 2020.4）          河川事業は、主に豪雨等による洪水あるいは台風時の高潮等による被害軽減及び防止を目的とした事業であり、河川改修等を実施することで解消・軽減できる被害額を便益とし、それに要する費用とを比較して求めている。事前評価にあたっては、値が1以上であることを要件としている。</p> <p><b>【変動要因の分析】</b>          ・費用について、当初想定していなかった軟弱地盤層の確認により樋門の基礎工や仮設工を見直した結果、事業費が増加したため費用便益比（B/C）が小さくなった。          ・農地面積に減少や宅地面積の増加に伴い、被害額算定の基礎となる世帯数や事業所数、延べ床面積の数量が増加した。</p>	区分		事前評価時 (基準年: 2005)	再評価時 (基準年: 2011)	再評価時 (2回目) (基準年: 2016)	再評価時 (3回目) (基準年: 2021)	備考	費用 (億円)	事業費（建設費）	21.8	—	—	64.3		維持管理費	2.6	—	—	7.3		残存価値	0.2	—	—	—		合計（C）	24.2	—	—	71.6		効果 (億円)	一般資産被害額	19.3	—	—	75.7		農作物被害額	0.0	—	—	0.0		公共土木施設等被害額	32.6	—	—	57.0		間接被害額	4.0	—	—	19.3		残存価値	—	—	—	0.3		合計（B）	56.0	—	—	152.2		(参考) 算定 要因	浸水面積 (ha)	96.71	96.71	96.71	96.71	—		宅地面積 (ha)	84.81	85.15	85.77	86.19	+1.6%		農地面積 (ha)	6.3	5.6	4.5	4.2	-33.3%		人口 (人)	2,875	2,963	2,963	2,733	-4.9%	費用対効果分析結果(B/C)		2.3	—	—	2.1	
区分		事前評価時 (基準年: 2005)	再評価時 (基準年: 2011)	再評価時 (2回目) (基準年: 2016)	再評価時 (3回目) (基準年: 2021)	備考																																																																																																			
費用 (億円)	事業費（建設費）	21.8	—	—	64.3																																																																																																				
	維持管理費	2.6	—	—	7.3																																																																																																				
	残存価値	0.2	—	—	—																																																																																																				
	合計（C）	24.2	—	—	71.6																																																																																																				
効果 (億円)	一般資産被害額	19.3	—	—	75.7																																																																																																				
	農作物被害額	0.0	—	—	0.0																																																																																																				
	公共土木施設等被害額	32.6	—	—	57.0																																																																																																				
	間接被害額	4.0	—	—	19.3																																																																																																				
	残存価値	—	—	—	0.3																																																																																																				
	合計（B）	56.0	—	—	152.2																																																																																																				
	(参考) 算定 要因	浸水面積 (ha)	96.71	96.71	96.71	96.71	—																																																																																																		
	宅地面積 (ha)	84.81	85.15	85.77	86.19	+1.6%																																																																																																			
	農地面積 (ha)	6.3	5.6	4.5	4.2	-33.3%																																																																																																			
	人口 (人)	2,875	2,963	2,963	2,733	-4.9%																																																																																																			
費用対効果分析結果(B/C)		2.3	—	—	2.1																																																																																																				

2) 貨幣価値化困難な効果の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul> <p>【前回評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に変化はない。</li> </ul> <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>	
	判定	<p><b>B</b></p> <p>A：事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。  <b>ⓑ</b>：事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。  C：事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p> <p>【理由】</p> <p>軟弱地盤層の確認により神戸川樋門の対策工（基礎工、仮設工）の事業費が大きく増加しているが、費用便益比（B/C）が1を上回っており、事前評価時と同様、事業効果は発現される見通しである。</p>
III 対応方針		
<b>継続</b>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。  継続：上記以外のもの。</p>	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>・－</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>・事業後の河川水位や浸水の規模等</p> <p>※事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生しなかった場合には、同期間の最大規模の降雨により評価する。</p> <p>※事業後の河川水位の低下や浸水の規模・発生頻度の減少などを検討し、事業効果の評価を行う。</p>		
V 事業評価監視委員会の意見		
二級河川神戸川水系の対応方針（案）[事業継続] を了承する。		
VI 対応方針		
事業継続		